

転生したら樹人族なん
ですが誰かあの駄女神
を呼んでこい

唾☒

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

寝相の悪さで死んだらトレントになったオリ主が意図せずリムルと敵対しちゃうかも知れない話

※なるべく原作に順守します。

いえ、させます。

目次

起きたら森の中なんですけどどうしたら いいんですかねえ。	1
賢者タイムって優秀ですわ。はい。でも こんなんで感じたくなかったなあ。	7
おめでどう。住んでる世界が決まったよ ♪じゃねええよ！なんで　なんで俺の大 事な息子gあ、、	14
おめでどうございませよ♪バーサーカーク ラスの適正を得ました。って、ふっぎけ んなあああああああ!!?　—	17
読心術って知ってます。人の心をよむそ	

うですよ。って、おい待て。だからって 人の心をよむなよ。よむんじゃねえつ て、ってんだろおがああ!!　—	20
さて、昔話をしようか。て、おい待て。そ の手に持つてるのは何だ、つて！おい、そ の構えやめろ　まじやめろ。やめ　う わアアアアアアアアアア　—	25
主人公とかいきをする様にスキルを使っ てるけど。どうやって使ってるんでしょ うね。え？俺が馬鹿なだけ?　—	33
偉大な先人達って素晴らしい言葉を残し ますよね。でも大抵ろくな事にならない のはなんでしよう？不思議ですなあ。	

ツンデレって可愛いよね。んじあ、元男
から向けられるのは？

56

王様って悪いと思いませんか？いえ。
どっかの腹黒爽やかなチャラ皇子のこと
なんかひとつとも言ってませんよ。

66

進化って実際何すれば良いんですか？種
火でも集めれば良いんですか？え……
燃やすってどおゆう事……ちよつ、
まっ………アアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアア — 73
体罰って知ってますか？教育現場に置き

てやっっちゃいけない事なんですよね。こ
の意味分かりますか？え、異世界だから
関係ない？え、ちよつ待つアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアア
バトル漫画でオーラが燃えてる人って居
るじゃないですか。あれって本当にいる
んですね。まあ、誰とわいけませんけど。
だから、燃やそうとするのは止めてええ
えええええええええええええええええ
アアアアアアアアアア — 93
今時DVなんて小学生でもわかるぞ。そ
れなのにここに居る奴らは………

起きたら森の中なんですけどどうしたらいいんですかねえ。

人間は頑丈じゃなさそうで頑丈だったり、やっぱり頑丈じゃなかつたりと

誠に不思議な生き物である。そんな人間は逆さ吊りにされると3時間で死のである。ヤッパリガンジヨウジャン ゲフンゲフン。

まあこんな生き物だからこそだろか彼、明神 熙明は自らの寝相の悪さで死んだ。

無論家族がその死因について聞かされたところ大爆笑されたことは御愛敬である。良かったね緑ジャージの人、仲間が増えたよ。

ジュラの大森林と呼ばれる12万年前の大森林、後の傀儡国ジスターヴの程近くにつの芽が出た。

∴ now reading ∴

2 起きたら森の中なんですけどどうしたらいいんですかねえ。

ん、よく寝て………へ？

良かったねk z m、君の良き理解者になれる樹木が現れたよ………異世界だけ
ど

よし待て、なんで俺が森の中にいる。こ、こんな時ラノベの主人公hアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

こうして1日が普通に過ぎた。

なのでそのメンタールを僕に分けてください。

分けてよ。分けてよ！分けるつつつてんだろ！！

こちら皆様御用達の特性メンタルチートなんてもってねえんだよ！！

アア!!?てめえ、こちら死活問題なんだよ!!!お前らもう、ウハウハして人生楽勝モードだろうが！だったらこつちにも………

くしばらくおまちくださいく

なんか後ろから猛烈な殺気を感じるけどキノセイだろう。気にしない気にしない h a h a h a h a h a h a。んじやあ状況を整理しよう。決して後ろの殺気から目を背けたいワケじゃないカラネナニヲイツテルノカジブンデモワカラナイヤ H a h a h a h a。

んじや状況整理状況整理。

①ベットで寝る

②夜の運動会個人種目に出場する

③寝る

④なんか森 n アアアアアアアア

6 起きたら森の中なんですけどどうしたらいいんですかねえ。

→

今ここ

よし分からん。分からんわこれ、誰か解いてくれる人いないかな。あ、蝶ネクタイの死神はいらないです。

こうしてまた一日無駄に過ごした。私にもメンタルチート分けてください（懇願）

なんか森にいる生活4日目く賢者タイムく

落ち着いて考えてみると色々おかしいな、うん。3日ぐらい寝てないし、食ってないし、水も飲んだりしてないよな。うん 色々おかしい。うん。

ついさっき牛と鹿のミックスしたやつみたいなのが通ったし。ドラゴンも飛んでたからなあ・・・ん？ド・ラ・ゴ・ン
????

くしばらくお待ち下さいく

異世界かあ、異世界かあ、異世界なのかあ・・・・・・なろう系にとつとと帰れ。いや、憧れるよ男の子なら一度は憧れるけどさあ。

動けないってなくね、何俺の最終目標って動くことなの？

ねえ、異世界物ってさ、異世界物ってさあ。

ORRESUGEEEEEとか謎理論のウハウハハーレムとかあるじゃん。

何、俺この素晴らしい世界に祝福でもされてるんですか？

いやあつちの方がまだマシ。能力とかの説明してくれる存在ってありがたいんだね。

こんなんで感じたくなかったよ。

ねえねえゆんゆん、友達になつてあげるからこつちにきてよ。(カズマボイス)

まあ、こんなんでも落ち着いていられる賢者タイムつてスゲエは(ドラゴンからは目を逸らしつつ)

寝よ

10 賢者タイムって優秀ですわ。はい。でもこんなんでも感じたくなかったなあ。

寝れねえ

なんか森にいる生活5日目（朗報）
あたーらしい、あくさがきたっ
きぼーおの
あさくあだ

よろこーび ふんふんふん ふうんふっふっ ふふふうんふうんふーん
朝だやっただぜ五徹目だせ！

現状確認としてここは、紅い巨人が進撃してくる場所じゃないしスターがウオーズする場所でもないタブン

まあ、運命の世界は見る分には楽しいけど転生はしたくないなあ

無論、盾も慎重も魔物狩人も

考えられる世界としては緑色の勇者やピンクの悪魔、魔王ゾーマに最後の幻想、素晴

らしい世界あと盾の魔王 いや、最後はゲームか

でもあり得んだよなあ。どこの賢者を見ていると

まあ、いいか。どーにでもなれだ♪

何処かにチヨロゴンさんとかかみさま（意味深）とか落ちてこないかなあ

なあ、なあ。なあ なあ!!

なあんで俺には居ないんだよ！そうゆうの。くれよ、くれよ！落ちて来いよ!!なんで

こねえんだよクソが！

はあ、虚しい。

これが後にフラグになることを俺は知らない

(朗報?)

「いや、可哀想だしやめてやれよ。」

さらつと殺されそうになりましたよお！

ありがとうございます。ルドラ様この御恩は必ずや貴方様にお返し致します。

「それならルドラ、あの幹全部貰っていきましょう。きつとお抱えの職人達が舞い上がるはずよ。」

「本人？がいる前でさらつと殺す宣言しちやまずいでしょ。てかあんな巨大樹の幹なんて誰が運ぶんだよ。」

ん？巨大樹？てかなんで俺のこと樹みたいにいつてんの？え？え？え？

「ルドラ、この子、とても1万9000年生きたとは樹木とは思えないわ。」

「ああ、俺もあのトレントだと思ねえ。トレントつて言うとなんか理知的なイメージがあつたんだがコレを見るとねえ。」

おーい。俺のこと無視すんなー。てかどゆこと？俺樹なの、え？まさかの人外ですか？え、しかも樹とか俺の息子どうなったの？誰か確認してくんね？ねえ、確認してぐれよお（泣）

「……ねえ、伐採してもいいかしら。さすがに今の発言には我慢できないのだけど。」
「やめてやれ。……ドンマイ。」

「頑張れよ。」

うおおおおおおおえん。

この悲痛な叫びは大森林に響くはずがなく。哀愁漂うその気配だけが森林にいる男達の胸に突き刺さりココロに深い傷跡を残すのだった。

ちなみに此処をたまたま通り過ぎた赤や星生竜の胸も抉られたらしい。

後にこのことについて言及したところ皇帝ルドラはこう答えたらしい。

「あれほど悲痛な叫びは今後一生聞くことはないだろう。今でも余のココロに深い傷を付けている。もうあの叫びなど思い出したくもないし、思い出したいとも思わない。」と。

ちなみに泣き止んだ時には勇者も竜種も此処には居なかった。

おめでとうございます♪バーサーカークラスの適正を得
ました。つて、ふつぎけんなああああああ!!?

なんか森にいる生活8日目

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

こうして1日無駄にした

今日は誰も来なかった

なんか森にいる生活9日目

うん、受け入れよう。受け入れるんだ。ふくしよー。俺は人外。俺は人外。俺は樹
木。俺は樹木。俺は無性。俺は無性。俺は無性。俺は動けん。俺は動けん。俺はぼっち。俺は
ぼっち。俺は老害。俺は老害。俺は、俺は、俺は………

う、

ぐ

わああ

今日も誰も来なかった

ゆんゆん、
来て

20 読心術って知ってます。人の心をよむそうですよ。って、おい待て。だからって人よむなよ。よむんじゃねえって、ってんだろおがああ!!

読心術って知ってます。人の心をよむそうですよ。つて、おい待て。だからって人の心をよむなよ。よむんじやねえって、ってんだろおがああ!!

なんか森にいる生活10日目

Hello my friend

皆さんはそろそろ家を出て、学校で勉強に励んでいる頃でしょう。

私は今……

「何を考えてるんだい？君の話の続き、早く聞かせて欲しいな。」

今、竜種（炎熱系最強）に殺されそうな目で見られながら、勇者（最強）に事情聴取されています。誰か助けて（懇願）

「あら？そんな目をした覚えはないのだけど。やっぱり失礼だから伐採しようかしら？」

ひ、ひいい。すみません。すみません。すみません。すみません。

「やめろよ。こいつの話結構面白いしまで樹妖精^{ドライアド}進化したら、ギイをぶん殴るための重

要な戦力になるかも知れんからな。」

え、部下になるなんて一言も言っつて n

「誰だったかな？俺にどんな事もするって言ったのは。」

あ、ハイ。自分でございます。何も言い返せません。ん？てか、なんで一言も喋って無いのに話通じてんだ？おかしいだろ。今まで綺麗にスルーしてだけど。

「え？そんなの読心系のスキル使えば一発で分かるし、俺やヴェルグリンドは無くてもある程度読み取れるよ。てか、なんでそんな事今更になつて気にしたの？」

は？

「やっぱ、おもしれーははコイツ。なあヴェルグリンド。」

「ええ、そうね。そろそろ伐採してもいいかしら？もう我慢の限界なのだけれど。」

は？はああああああ!!え、何んじやあ今まで考えてた小っ恥ずかしい事も全部聞いてたんですか？

「いや、聞いてないぞバーサーカー。」

「ええ。昨日はいい反応だったわ。そのまま自殺してくれたらなおよかったんだけど。そこは残念で仕方がなかったわ。」

へ？あ。へ？あ、ああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

「チイツ、なぜ此処がバレた。ちゃんとバレないように抜け出して来たと言うのに。なぜだ、なぜなんだ。誰か答えろ!!」

ドンマイ、ざまあー。

「あら、ルドラ。私に決まってるじゃない。そろそろロシアだって限界よ。大人しくお縄につきなさい。」

「き、貴様あ！裏切ったなあ。」

「私は悪くないわ。何処かの皇子が自らの妹に公務を押し付けたのが原因よ。」

まあ、頑張れよ皇子様（笑）。

「お、覚えてろよおお!!」

「ああ！逃げたぞ。全軍、あの皇子に向けて。とつげえきいいいいい。」

「魔道士二番隊！私が指揮をとるわ。総員！攻撃よおおおい。つてええええええええ!!」
?」

こおして急に小物臭しでした皇子を追い。この大森林は少し騒がしくなったそうさ。因みに、皇子が捕まえられるまでに森はその4割を焼かれることになったそうさ。これが後の東の草原である。

てか、お母さん（予定）、このせいで来てなかったんだ。苦労してるなお前。

24 読心術って知ってます。人の心をよむそうですよ。って、おい待て。だからって人よむなよ。よむんじゃねえって、ってんだろおがああ!!

俺が動けるようになったら一緒にルドラ被害者の会でも立ち上げようか。
頑張れよルシア。

さて、昔話をしようか。て、おい待て。その手に持つてるのは何だ、つて！おい、その構えやめろ まじやめろ。やめ うわアアアアアアアアアアアア

なんか森にいる生活11日目

まあ、いろいろ受け入れられない事はあるけど

本当に、転スラのとこに来たんだなあ。読み始めた頃は行ってみたいと何度も思つて、窒息死しては踏ん切り付かなかつたのは良い思い出なあ。

でもさあ、でもさあ！生き物ですか？ 樹人族は無くないか？まっだ無能力の転移のほうが100倍

マシだわ!! なんてなんでなんだよ。しかも1万9000年つて何？ただの植物からスタートなの？なんでなんでなの？せめて樹人トレント族からだろ!! 1万9000年は無意識つて要らない親切はいからさあ！スキルくれよス・キ・ル！てか、1万9000年実質寝てるような状態だからロクなスキル取れてる気がしないんですけど!!! どおしてくれるんですかあ？責任取れるんですかあ？一体誰に怒ってるんですかあ!!? だれ! か! 説明ください!!? 説明プリズ! は・や・く! は・や・く! は・や・く! せつつめいよこ

せ!しばあくぞ!!はあはあはあはあ………明日ルドラ来
たら八つ当たりしよ。

はあああああああああ。いろいろあつたから忘れてたけど、ヤツベエ!ロクでも
ない世界を祝福するやつ^の最終巻、密林のカートに入れっぱなしで、買ってねえじゃ
ねえか!!チツク ショオオオオオオオオオオオオオオオオ!!!

h a h a h a h a h a h a あれか、あの本を買い忘れてたから罰が当たったんだ。そ
うだ、きつとそうだ。絶対そうだ。フツザ ケンナ!!?

おい!駄女神!!いつか必ずお前に復讐してやるからな!覚えてろよおお!!
よつかつたねアクア駄女神関係のないところから、復讐が決定したよ。

く賢者タイムだよく

ふう。スッキリしたあ。にしてもホント不親切だよな俺の転生。変なところは気を
きかせてるくせにさあ!って、なんか受け入れられてる自分もこえーわ。

はあ、運が逃げていくと分かっても、止まらねーわ。溜息。はあ。

ルドラが勇者やってるって事はだいたい10万年前だよなあ。原作開始まで遠い
なあ。まあ、でも。原作によく似た世界なのは決まりだろうな。その場合どこまで違う

か把握しないと痛い目に絶対に会うよな。はあ。原作知識は役に立つか分かんねえな。このまま原作通りに進んだ場合、俺の事をリムルと似た転生の仕方をした奴ってヴェルドラが言うだろうな。其れこそ2次創作された方をベースにされた世界の場合把握してない作品の可能性の方が絶対高いしそうなるトルドラが勇者やってるって言う絶対的な基準も失う訳だし年代の把握はしつかりやんないとなあ。まあ、それやってもまだ飯説の段階なんだよな。リムルが転生してもおんなじ。日向か優樹、シズさん、クロノアの封印があつて始めて年代が分かりそうな感じだしね。

あ、俺暗記科目苦手だった

なんか森にいる生活12日目

何かを察したのかルドラは来なかつた。そう、ルドラは今日此処に来てないのだ。つ
てえ、フツザケンナ!コレじゃあ夜鍋して考えた口撃が出来ねえじゃねえか!返せよ!
俺の夜鍋したした時間を返せよ!ど畜生が ケツ!

ヒイ!何何何?!なんで誰もいないはずなのに殺気を感じんの!?!てか、俺どうやって殺
気感じてたの?普通感じれないはずなのになんでかんじてんのお!?!しかも、なんか当た

り前のように感じてたしい!!俺の体転生してどうなったの!?第六感でも身につけたんですかアアアア!!!???

ねえねえ誰か答えてよ。本当に誰か答えてよ。一生のお願いだからさあ!ねえつてばあ!!

:.now loading...

ふう。そう言えば、今まで前世の事で気にしてる余裕なかったけど。こう、なんとなく余裕があるという気になることが出てくるよなあ。

アイツら元気にしてつかなあ?俺が死んで落ち込んでないといいけど。

それにあの三馬鹿の漫才を見れないのはちよつと寂しい。

あ、ヤバイ俺。結構未練たらたらだわ。こう、死んでから気付く未練とか結構あるも

んだな。リムルは世界を渡る魔法を完成させてたし俺もやってみようかな。この体になつてしまったから、実質寿命なんてないに等しいし。

それに植物になつてしまったけど此処で元気に人生?をやってるし。

だからこそ思つてしまふなあ。自分の死を悲しんでくれる人の事。

いや、いるのは嬉しい事だけど。それ以上にこんな自分のためだけに大金使つて葬式してくれるわ、別れを惜しむ人が居るわとか考えてると

なるとなんか罪悪感がわくんだよなあ。

本当に迷惑かけてすみません。

いつか帰ってくるようなことがあつたらちゃんと謝ります。

あの鬼畜王も転生した後こんな事思ったのかなあ。

32 さて、昔話をしようか。て、おい待て。その手に持っているのは何だ、って!おい、そ
やめろ まじやめろ。やめ うわアアアアアアアアアアア

主人公とかいきをする様にスキルを使ってるけど。どうやって使ってるんでしょうね。え？俺が馬鹿なだけ？

なんか森にいる生活13日目（賢者タイム）

hello my friend

皆さんは壁に耳あり障子に目ありと言うことわざを知っているでしょうか？私は今……

『あの鬼畜王も転生した時にこんな事思っていたのかなあ？』ブフツ、傑作wだわwこれえw w w w w w w w w w」

ルドラに同情されながらめつつちや笑われています。

「ちやんとぶ、記録ブフウウツ。してwあるw wからw wやw wつべえw w w w wもたえwられw w w w w w w wねw w w wえw w w w。どwんw wまwいw w w」

地獄かな？此処は。

てか、どうやって聞いていたのかな？前の時はまだしも今回は本国に連行されて聞けないはずだね。どうやったのかご教授頂けませんかねえ。ルドラさん。

「w w w w w w w w w wなあw wにいw w w w w w w w聞w wこえw w w wなあいw w w w w

W

なんだろうこの気持ち。とても心が穏やかだ。今ならどんな罵倒も全て受け流せる気がする。この心ならどんなことがあっても大丈夫だ。きつとどんなモノでも受け入れられてる。ああ、ルドラ。君は私の醜態を見て満足してるかい？君が満足しているなら私は嘲笑を甘んじてうけるよ。だから、思う存分笑っておくれ。

「え？ちよつ。」

あ、ああ。宇宙の真理が見える。釈迦仏如来はこのことが言いたかったのかあ。ああ。これが悟りかあ。こうしてしまい思うと植物になつてよかつたと思うよ。

「おーい。おーい。聞いてますかあ？」

そうかやっぱりそうなのか。悟りを開いた者は植物になるのかあ。

「あ、やべえ。笑いすぎた。大丈夫か？謝るから戻ってきてくれないか？お願いだからさあ。おい。聞いてんのかあ？無視すんなよ。ヴェルグリンと呼んできて、伐採させるぞー。おーい。おーい。聞いてんならへんじしろおー。」

あ、ああ。これが世界。これがユグドラシル仏アタナなんです。確かに、これだけ大きければ、全ての世界の柱となる。ああ。これが世界。九つに分かれた三千世界そこから枝分かれする様に世界が分かれてゆくのかあ。此処には庭師もいる三人全ての王の庭師、三人全ての運命の語り部、三人全ての人民の剣聖、三人全ての法則の賢人。

ああ、これが世界樹木これが真理仏陀これが、これが、

ああ、世界は美しい醜惡だ。

ああ、世界は完璧不完全だ。

これだからこそ成り立つ美しくている。

これだからこそ成り立つ壁にていられる。

ああ、この世界汚物に祝福福いを。

「やっべえ！おい！戻ってこい！戻って」

《確認しました。エクストラスキル『無我之境地』を獲得………成功しました。》

「え。」

え。

36 主人公とかいきをする様にスキルを使ってるけど。どうやって使ってるんでしょう俺が馬鹿なだけ？

『え。』

「よし。ちよつと確認しようかあ。」
お、おう。

「……何あれ。」

俺にそう言われても……

「うん。まあ。スキル発動させてみればわかるんじゃない？」

いや、分からんし。スキルを発動させるとか妖気オーラを操るとか、皆さんどうやってるんすか？

おれ、てんせーしやだからよくわかんない。

「はあ。そこからか……俺が見てきた異世界人はいきをする様にスキルを使ってたぞ。」

え。何それ天才。そんな天才共と一緒にされたくないわ。

「いや。お前が救い様がない馬鹿なだけだろ。どんな阿呆でも使いこなせてたぞ。」

は。はあああああああああああああああああああああ?!!

え?え?ええええええええええ?!

何俺、馬鹿だったの?救い様がない馬鹿だったの?

これでも俺、地方の進学校に通っていたからな。

だから俺は救い様のない馬鹿じゃない。

はい!Q D A。完璧

俺天才!!

「やっぱり。お前馬鹿だろ。」

ち、違あああああああああう!!!

断じて違う。

絶対に違う。

昔から頭の回転がちよおつと鈍いだけで決して馬鹿ではない!!

此処で断言する。

俺は馬鹿じゃない!

「いや、頭の回転が効かないだとか。応用が出来ないって意味で馬鹿って言ったんだけど。」

チ、チツクシヨオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ!!!

40 主人公とかいきをする様にスキルを使ってるけど。どうやって使ってるんでしょう俺が馬鹿なだけ？

この後散々笑われた挙句。渾名が『度し難い馬鹿』になった。

ち、
畜生。

偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも
大抵ろくな事にならないのはなんでしよう? 不思議です
ねえ。

なんか森にいる生活14日目

ルドラにスキルの使い方を教えてもらうことになった。

のはいんどけどさあ! なんで、なんで、なんで? なんで! な・ん・で!

「WWWWWWWWW つかねええ WWW 馬鹿だ W こん W W ほを W とうに W
WWW ばつかだあ WWWWWW。それが W ぶつ、1万9000年(笑) もぼつちしてた
実力 WWW ですかあ WWWWWW WWWWWW?」

なん で ぼつ ち と 馬 鹿 に さ れ な き や 行 け な い い ん

だああああああああああああああ!!!

なに? こつちのぼつちは! そ・う・と・う! 優秀なようですねえええ!! 是非力を貸し
ていただきたい! モノですよ!!

「WWWそりやあ WWW そうだろ WWWWWW なんせ WWW 精霊女王は W ぼつち WWW だし

44 偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも大抵ろくな事にならないの
でしょう?不思議ですねえ。

畜生。

なんか森にいる生活15日目

今日はルドラは来なかった。

目の前で冒険者？が焼いてる肉が美味そうです。

46 偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも大抵ろくな事にならないの
でしょう?不思議ですねえ。

早く人化して肉が食いたい。

なんか森にいる生活16日目

今日もルドラが来なかった。

スキルを使おうと思って。スキル名念じてみたがだめだった。

今日のご飯はデンプンです。

食べた気がしない。畜生。

48 偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも大抵ろくな事にならないの
でしょう?不思議ですねえ。

「なんか森にいる生活17日目」

「なんかこの生活にも慣れてきたなあ。」

「そう思っちゃっても返事をしてくれる人はいないけど。」

「そういうば、ここに転生したばかりの時は発狂してばかりだったなあ。」

「やっぱり人って慣れる生き物って本当なんだ。」

「こう言うので、証明したくなかったけど。」

まあ。この世界を知ってて、おまけにサポートキャラ（煽り担当）がいるおかげだからなあ。（殺す殺すと発言している竜種様から目を逸らしつつ）

あれ？

これって十分にチートじゃね。

似ている世界だったとしても知っているのはプラス面で（もマイナス面でも）大きいし。

いざとなったら頼れる存在が存在するという安心感（と煽り耐性の獲得）

まあ。そうなる何と知らない所に送られる。異世界系主人公ってすごいんだなあ（大抵神様がいるけど）。あいつら、すぐにとんでも能力使いこなすし（主人公補正で）。当て付けだろ完全に。

50 偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも大抵ろくな事にならないの
でしょう?不思議ですねえ。

畜生。
転生者共め。

∴
n
o
w

l
o
a
d
i
n
g
∴

てか最近、『俺』って言わなくなったような気がするのなんだろう？

まあ。気にしすぎてもしやーないしやーない。

偉大な先人が言ってたことを思い出そう。

『明日の事は明日になったら考えよう。』

これで（明るいとは限らない）未来を掴んだ先人達はたくさんいる！

だから大丈夫！

52 偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも大抵ろくな事にならないの
でしょう?不思議ですねえ。

この事をマジで後悔するのはのちの話。

今日もルドラが来てなかった。

54 偉大な先人達って素晴らしい言葉を残しますよね。でも大抵ろくな事にならないの
でしょう?不思議ですねぇ。

今日もやっぱり光合成♪

畜生。
肉が食いたい。

ツンデレって可愛いよね。んじあ、元男から向けられるのは？

なんか森にいる生活18日目

「やあ、面倒臭い彼女（笑）。元気にしてるかい？俺が寂しがり屋の君を癒しに来たよ。」

おい。どお言う意味じゃこらあ？出会い頭に人の事を彼女（笑）と呼ぶのはどーゆーことだこらあ。仮にも精神だけは男であるこの私にい。だいたいテメエはー

「だったら。この数日間俺の事を待ちわびているふうな思考はなんだったのかなあ？教えてほしいなー。」

は？ん？え？そんな事言っただけか俺。肉が食いたいなあぐらいしかかんがえ

「一昨日。」

『今日もルドラが来なかった。』

スキルを使おうと思って。スキル名念じてみたがだめだった。』

さらに昨日。

『てか最近、『俺』って言わなくなったような気がするのとはなんでだろ？』

まあ。気にしすぎてもしやーないしやーない。

偉大な先人が言ってたことを思い出そう。

『明日の事は明日になったら考えよう。』

これで（明るいとは限らない）未来を掴んだ先人達はたくさんいる！

だから大丈夫！

今日もルドラが来てなかった。』

これにどう反論できるのかなあ？健気な彼女（笑）さん。」

は？

「いやあ！照れるねー。こう言う素直な好意を向けられると流石の俺でも困っちゃう笑。」

．．．．．デタラメダ

「ん〜？なにに。聞こえないなあ。ほおうらさつさと認めろよ。健気な彼女（笑）さんよお。」

．．．．．こんなの！でつたらめえだあああああああ!!

ダアレがテメエなんかでれるかバアアアアアカ！

さっさとお前はお家に帰ってヴェルグリンドと公務デートでもしてこいよお！

「やあくい。やあくい。ツンデレ彼女(笑)さっさと俺の目指せ！ハーレムへ！に加わりやがれ。」

違うわあああああああああああああああああ
!!!!

その後2時間もこの口論？は続いた。

良かったねノーコン騎士(笑)。お前と同等のチョロイン(笑)だけど候補ができ

たよ！良かったね!!

はあはあはあはあ…

てか。最近ヴェルグリンドさん来てないゆな。大方想像は付くけど（最強勇者分ぞ）笑う皇子様に目を向けつつ）

「ん？あぁ。あいつなら氷土の大陸にいったぞ。」

へえー。そーなんだー大変だなルシア。兄はどっかに行っちゃやし頼れるグリーン姉さんは氷土の大陸にいつてるし、い？

「ん？氷土？表土？兵藤？」

え？ギイってもう魔王様やってんの？

「ん、どおだろおなあ？今度聞いてみつか。」

んじああさあ。ル、ル、ル、ルシアさんって子供がいたりい。

「いるわけないだろ、アイツに。絶対にアイツが出来ちやうのは俺より後だと自信を持って言える。」

よ、よかったああああああああああああ。

「てか、アイツに子供が出来てなんか悪い事でもあんの？てか、俺らと初めて会った時も最強のお母さんとか言ってたけどそれとなんか関係がー」

あ、ありません！そしてなんのことを言ってるのかさっぱりわかりません！

「ふうーん。あつそう。そーなんだー。まあ。そうゆうことにしておくよ。」

あ、危ねええええええええ。

「ん？何が危ないのかなあ？ツンデレ彼女(笑)くうん。そのこと。俺に教えて欲しいなあ。」

ヒイイイイイイ。お、お助けおおお。

ん？てか、テメエ、その呼び方やめろって言ったよなあ。

「え？だつてそうじゃん。」

違うわアアアアア！

「側から見たらその通りだからなあ……………うん。諦めろ。」

諦められるかアアアアアアアアアアア。

「いや。本当に側から見たらそうにしか見えないからねえ。まあ。最終的には振るが。」

違うわ。断じて違うわ!!てか、振るのかよ！

「まあ、振られるまでようこそ、俺のハーレム要員へ歓迎は…んー？するぞ？」

……………

「あ、やつぱ。俺に好意があるんだ。いやあ。俺も罪だねー。」

チツ畜生しよおおおおおおおおお。

この時初めてこの体を恨んだ。

…なんで動けねえんだよ。

畜生。

王様って悪どいと思いませんか?いえ。どっかの腹黒爽やかなチャラ皇子のことなんかひとつことも言ってますよ。

なんか森にいる生活19日目

なあ、ルドラ。

「なに?」

一つ聞きたいことがあるんだ。

「いいけど告白なら断るよ。」

いや、そうじゃなくて。

「いやもなにも、「元」とはいえ男だからな。進化してべつぴんさんになっても無理。」

・・・いや。ならねえって言ったよなあ。

「まくたまたく。そうやって誤魔化してく。もうデレちやつてんだろ。ほら、早くデレろ。」

ちやうわ!ぜええええつたいにならんわ!!

「よつ。さすが筋金入りのツンデレは違うわあ。いい仕事してるねええ。お兄ちゃんかんしんしたやうよおw」

「．．．．．はあ。もういいや聞くぞ。」

「お前、どうやって盗聴してたんだ。教えろ。てか今すぐ撤去しろ。」

「え。いうと思ってるの。教えるわけないじゃん。バツカだねw w w」

「．．．．．は？」

「まあ、されたく無かったらさっさと動けるようになって対抗手段でもこうじることだね。」

「．．．．．プ、プライバシー」

「異世界にあると思うかい？てか、適用されるのは『人』だけだけどねw w」

「うっ」

「てか人に教えてもらってる立場の奴がそんなこと言ってるのか？」

「ううっ」

「．．．．．まあ．．．．．頑張りたまえよ（笑）」

「チ、チ、チツキシヨオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ」

「覚えてろ、覚えてろ。覚えていやがれ！こんちきしよおおが、絶対に見返してやる復讐してやる。」

だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・
だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・
だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・
だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・だから・・・・・・・・

なんか森にいる生活20日目

「まず、お前に言いたいことがある。スキルつてのには『解析鑑定』みたいに相手の能力
を視る事ができるスキルがあるんだけど、それを使うと同等以上の存在になると詳
しくは視る事が出来にくいんだけど格下相手ならかなり高等な妨害をしない限りよく
視えんだわ。」

・・・どゆこと

「いや、進化すれば自由に行使できるよって言うてるの。そもそも植物である君が俺を認識できてる時点でなんらかしらスキルを使つてなきやおかしいからね。」

・・・・・・・・・・・・・・・・てことは。

お前の馬鹿発言つて取り消されるの?

「いや、それはない。」

即決ううううう?!!!!

いや、そこは取り消すところですよ。

だつてスキルのせいで行使出来なくなつてるんだから馬鹿じゃないですよ。そこは

「ごめんね〜許して〜」とかつてゆうところですよ普通!

流れを読め〜テンプレつてのを知れ〜

「いや、知らんし。指摘されるまでそんな事にも気づかなかつたお前が馬鹿なだけだろ。」

はあ?!これでも地方の進学校には通つたと言う実績があるんだからな!

「いや、そつちの事情なんて知らんし。てか、地方の進学校つて言つてもどうせ"自称"進学校つてのが入るんだろ。」

そ、そんなことね〜し〜

ちやんと進学校？してたし〜

・・・あれ？

なんでルドラが学校なんて知ってんの？

「いやあ。だつて俺の知らない単語とか君から沢山聞いたからね。ちやうど俺の国にいた異世界人に聞いてまわつたのさ。」

あ〜。そ〜ゆ〜ことか〜。

なら納得だわ〜。

「あ〜。それとこれこれ。これ、君が欲しがつてだものだよ〜ね。」

ん〜？なにになに〜つてファツ!?

そ、それは、貴様なぜ持つている。答えろ!

「ふつ。何故つてそりやあ異世界人から徴収したに決まつてるじゃないか。こーゆーときの国家権力つて便利だよ〜。」

な、なんだと。貴様それでも人間か・・・その持ち主はどれほど悲しんでいるのか考えた事はないのか。

「動揺しているみたいだねえ。もし、君が進化をしたら渡そうと思うんだけどおつかな〜。」

くつ。そ、そんな物に私は屈したりなど

「あー。せっかく君のために徴収したのにいらぬのか。そうか。残念だなあ。どおしよつかなくこれえ。捨てちやおつかなく。」

き、貴様ああ。

「うん、君にはいらぬようだね。よし、さっそく捨てちやお。」

や、やめろおおおおお。

「よし、どこに捨てちやおつかなあ。よし、ウエルグリンドにもやs」
分かった分かったから。

その本。捨てないでください!

こうして、俺はルドラと進化のための特訓をする事になった。

あとで無茶苦茶後悔すると知らずに……

進化って実際何すれば良いんですか？種火でも集めれば
良いんですか？え……燃やすってどおゆう事……
ちよつ、まつ……アアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアア

なんか森にいる生活21日目

「と言う訳で、不本意ながらアナタの修行は私が付ける事になったわ。」

いや、全く話が読めません。なんでグリーン姐さんが修行を付ける流れになったのか全く分かりません。

「あら、いつからアナタとそんなに仲になったのかしら。是非教えてほしいものだわ。」

ヒ、ヒイイイイイイイイイイイイイイイイ。

「あ、あと。もし修行中に不幸酒な事故炭になったとしても、わざとじゃないから。その事だけは覚えておきなさい。」

え。其れ絶対わざとー

「じゃあ始めるわよ。」

待つてちよつと待つて、ほんとに待つて。御願いだから、ほんつとうに待つて。待つて、待つー

「あら、あなたが死んげぶんげぶん修行するのに待つ必要性なんてないわ。」

今死ぬつて言おうとしたよな。おいそんな笑顔でこつちを見るな。見るな。見る・・・・・・・・見る・・・・・・・・見・・・・・・・・見・・・・・・・・み・・・・・・・・み・・・・・・・・

見・・・・・・・・見・・・・・・・・な・・・・・・・・い・・・・・・・・下・・・・・・・・さ・・・・・・・・いっ・・・・・・・・て・・・・・・・・ギイ

ヤアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
!!!!

・・・・・・・・この日はミディアムレアになるまで焼かれた。

なんか森にいる生活22日目

なんで焼く必要があるのかと聞いたら。魔素エネルギの絶対量の上限を上げる為に妖気オーラを浴びせてるからそれで例えやけ死んでも不可抗力だと片手で焰を遊びながら言ってきた。

正直それ不可抗にー

アツハイスミマセン。だから今片手で遊んでいる焰をこつちに向けなくてください
 てアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
 アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
 アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
 アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
 アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

なんか森にいる生活23日目

よく見たら置き手紙があった。

ふんふん、何々。

妹がぶつ倒れて公務から逃げられなくなったから、ヴェルグ lind を派遣する。健闘
を祈ってやるから頑張ってふっぎけん
なあああアアアアああああああああああああああ!!!

テメエ、殺される事が分かるよなて派遣してるよなあ。おい、絶対覚えてろよ、ル
ドラ。絶対だからアアアアアアアアア!!

え、あ、あのーヴェルグ lind さんその手紙踏まないでくれます。まだ全部読み終
わってないんですけど、

あ、あとその右手にある焔、こっちに向けないでー

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

・・・この日はレアでした。

なんか森にいる生活24日目

逃げねば、さっさと進化してこの場から逃げねば。でないと本当に消炭にされてしまう。原作知識からしたらあのやり方は間違っっては居ないけどさあ。あれじゃ死ぬ。ヴェルドラやイフリートが正直羨ましい。あっちの方が命の危険がないからまだマシ。いいなあ。

まあ、原作世界に居ないことは確かだからどうなつか分かんないけどアハハハハハハハハハハハハ

はあ。てか、なあんか大事なことを忘れてる気がするんだよね。樹妖精ドレイアドってなんかあつ

78 進化って実際何すれば良いんですか?種火でも集めれば良いんですか?え・・・・・・・・
すってどおゆう事・・・・・・・・ちよつ、まつ・・・・・・・・アアアアアアアアアアアア
アアアアアアアア

たようなく。つて、お姐様其れは流石に死ー

・・・・・・・・今日はこんがりヴェルダンです。

早く逃げねば

体罰って知ってますか?教育現場に置いてやっちゃいけ
ない事なんですよ。この意味分かりますか?え、異世
界だから関係ない?え、ちよつ待アアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

なんか森にいる生活25日目

ルドラが来ない!

てか、アイツが来ないのは皇子だから仕方がないけどさあ。

だからって

「あら、まだ死んでなかったのね。ならもうちよつと火力を上げようかしら。」
相性最悪
ヴェルグリンドを送り込みますう?!

普通!

死にますよ!

死にますよ!

なんか森にいる生活26日目

今日もルドラが来ない!

マジで助けるルドラ。

てか、ヴェルグ lind さくん!

なんかテキトーな名前付けて進化させればすぐに終わりますよねえ!ねえ!ねえ!!

え、付けようにもそもそも魔^{エネルギ}素量が足りてないから無理?いや、それにしてもこの修
行無茶苦茶すぎやしませんか?

てか、そういう類いの扱い方でにマスターしてますよねえ!

おい!目逸らすな!分かってんだ!

「あら、いつから私に対してこんな口の聞き方をする様になったのかしら。躰^たげが必要
みたいね。」

ヒイイイイイイイイイイイイイイイイイイ

ちよっ待アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

84 体罰って知ってますか?教育現場に置いてやっちゃいけない事なんですよ。この意
りますか?え、異世界だから関係ない?え、ちよつ待アアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアア

なんか森にいる生活27日目

救世主だー!

ルドラだー!

皇子様だー!

度畜生だー!

糞野郎だー!

唐変木だー!

助け^{さつ}てくれ^{さつ}てあり^{さつ}が^{さつ}とう^{さつ}。

や^テつと^メ地獄^エの^殺日々^すから^気解放^だされる^っんだ^た。

ル^気ドラ^持皇子^ち万^を歳^込

皇子殿下呪いあ万歳れ
勇者様断罪に万々歳れ

貴方様に精一杯の祝福誦いを

んく何々。

なんか呪詛のような物が聞こえる？

気のせいじゃ無いですかあ。

「いや、絶対に言っただろ。お前。」

人聞きの悪いこと言うんじゃ無いよ。

そーんなこと一言も口にしてないよ。

気のせいじゃ無いのかなー。

86 体罰って知ってますか?教育現場に置いてやっちゃいけない事なんですよ。この意
りますか?え、異世界だから関係ない?え、ちよつ待アアアアアアアアアアアアアアアア
アアアアアアアアアアアアアアア

く
し
ば
ら
く
お
待
ち
下
さ
い
く

ところでルドラ。

「ん？なんだい。」

妨害系のスキル持つてんのになんで思考が読み取れてんの？

「いや、その事ね。」

「まあ、端的に言おう。読み取れる訳ないじゃん。」
は？

「ぶっちゃけ。そのスキルはスキルを重点的に守ってるから思考の方は濃い霧が掛かった感じなんだよね。だから、そこん所を魔道具でより詳しく視てるんだよね。」

お、おう。

「ユニークスキルも侮れないよね。普通なら究極能力アルティメットスキルを持つてる時点で明確な差が出てくるから読み取れるはずなのになあ。」

まあ。お前が持つてるスキルなら尚更見えるよな。

「ん？なんで君が俺のスキルのことを知っているのかなあ？教えてほしいなあ。」

え、だつてラノベにそう・・・あつやべ。

「ラノベってどゆ〜ことか教えて欲しいな。」

ヒイイイイイイイイイイイイイイイイ。

「ほれほれ。白状せえい。」

NO!NO!NO!

「まあ。予測はしていたけど、正解っぼいなあ。」

え。

「と言う事で君がヴルナーヴァの上位存在である事が確定。」

え。それは違う。

「まあ、これで此処がどうなっていくのかわかるはず………ん?ごめん、
もう一回言ってみ。」

上位存在じゃない。絶対違う。

「………断言出来る根拠は。」

そんな存在だったらそもそも此処に存在出来ないでしょ。

「ん?どーゆうこと。」

「まあ。今まで黙って観てたけれどそれだけは正解ね。」

「ヴェルグリンドもそっちに賛成なの?」

「大変不愉快ではあるものの。今回ばかりはそうね。そもそも、アレが言う存在な
ら魂の密度が全く違うから魂が直接この場に居ないといけないし。そうなった場合受

肉もそもそも出来て無い状態だから大量の魔素エネルギが出るからこの世界そのものがおじゃんよ。だからそういった存在はその場で見てこの世界を楽しんでいる訳だし。もし顕現するならそれ専用の擬似同位存在イタクイを使うはずだよ。」

「まあ、そういう存在はそもそもそういう場所に行く意志があるからアレみたいな言動はしないし、いつでも戻れるから家族や友人を恋しがるような心情にもならないわ。」
「なるほど。なら、違いかあ。」

グリーンドさん博識だなあ。

「あー、いつからそう呼んでいいと言ったかしら。」

ヒイヒイヒイヒイヒイヒイヒイヒイヒイヒイ。すみません、すみません、すみません、すみません、すみません。」

「というかお前。何処でそんな知識を身に付けたんだ?」

「兄が教えてくれたわ。兄はそういう存在には詳しいみたいだから。」

さっすがヴルナーヴァさん博識だね〜。

「まあ、師匠なら知ってそうだな。んじやあイツはどうなの?」

「大方、上位存在が私達の世界を基に本でも作って販売でもしてたから。知っていたんじゃないかしら。だから基本的な知識が大方当てるだけで未来に関しては当てにもならない可能性の方が大きいから聞かない方が身の為よ。」

「ちっ 違ったかあ。残念。もし、そうだったらいろいろ出来ただけどなく。」

もしかしくなくても、此処までして鍛えてくれたのって、そう言う打算があったからなの?
の?

「まあ、それは否定できないな。」

んじやあ。そうじゃないからもう用済み……す、捨てられる……す、捨てられる……
「いやいや、捨てないよ。こっち側の陣営に入ってくればゲームの一戦力になるから、
修行の方は続けるよ。」

よ、良かったあ。捨てられない。

「ただし、修行を付けるのはこっち側の陣営に入るって誓ってからね。」

誓います!誓います!誓います!誓いますから捨てないください。

「よし、では。修行の方を始めよう。」

まあ、ボッチになるのは嫌だけどまた焼かれるのかあ。

「いや、俺も参加するよ。」

え。俺も”も”ってどうゆうー

「そりやあ。いつもの修行にプラスして、俺も闘オーラ気をかいほして鍛え上げる効率を上げ
ようなかって思ってるだけだよ。」

それ、死んじやー

いはずだ。俺も昨日まで知らなかったのになんで知ってたんだけ？」

「なあんでなのかなあ？こつたえて欲しいなあ。」

え・・・・・・・・・・・・・・・・えと・・・・・・・・

「ん。なに？」

「こ、考察と言うか・・・・・・・・も・・妄想です・・・・・・・・」

「え？」

いやだって、作品の中に入れたなんて、信じられませんもん。たぶんこんなんだろうなあと思ってたら当たっててホントびっくり・・・・・・・・的な・・

「ん。んく・・・・・・・・想像してたのと違うなく。実はそういう存在と交流がありました！的なやつかと思ってたのになあ。おつたしあなく。」

「私もそう言う路線なのかと思っただけだ。まさかただの妄想とはねえ。だから兄も人は面白いというのかしら。」

ホッ。良かった答えられる問題だったあ。お宝のありかとか聞かれたらたまつたもんじゃ・・・・・・・・

「あら。燃やされたいのかしら？そうね今回はじつくりと・・・・・・・・」

すいやせんでしだ!!いご気をつけたい次第で有ります！

「そうですね。気を付けることよ。」

はい！ありがとうございます！！

以後気を付けますので燃やさないで下さい！

『ウエルグリンド、ウエルグリンド、いいこと思い付いたんだけどちよつといいか？』

『あら。なにかしら？』

『付けないと決めた名付け、やっぱり付けないか？』

『あら、其れは貴方の方から散々否定していたわよね。今更どうして名前をつけようと思つたのかしら。』

『確かにアイツのスキルを見る限りあのまま名付けをしても名付けで起きる深い絆は無

効化されてしまう危険性が高い。』

『そうですね。其れは貴方が言つたことだし私も納得したわ。なら何故名付けを行うと言つたのか意味が分からないわ。』

『そりゃあ、その問題を解消するスキルを手に入れたからさ。』

『それって、貴方が兄と交換して手に入れたて言うあのスキルかしら？』

『正解。其れさえあれば例えアイツが究極アルティメット能力を手に入れたとしても支配下に置く事が出来る。正直恩義とかで縛つても限界があるし、こんな荒業やつても最低10年か

かる。最悪俺の人生一つ挟むぞ。だったらこれのほうに効果が良いだろ。』

今日の主メイン食ディッシュ

(意味深)

は勇者仕込みの簡単グリルです。

今時DVなんて小学生でもわかるぞ。それなのにここに
居る奴らは・・・・・・・・え?ちよつと、や、やめ。
やめろおおおおおおおおおおおおおへぶ
へぶ・・・・・・・・きゆう。

なんか森にいる生活29日目

「それじゃあ、始めようかしら。」

何を?

「そうだね。じゃあ、始めようか。」

嫌だから、何を?!

「名付けに決まってるじゃん。何言ってるの?」

え。てつきり修行していたので名付けはしないのかなあと思ってたらするんですね。

「まあね。本当はもうちよつと魔力量を増やしてからやろうかなあ。と思ってたんだけど。ちよつとね、諸事情があつて急がなくなっちゃいけなくなつたんだ。」

へえ。で、その諸事情とは。

「ヴェルナーヴァと妹が過労でぶっ倒れた。」

は？

「だから、ヴェルナーヴァと妹が過労でぶっ倒れた。」

えっと。ん？ん??んん???

「まあ、だから急遽君に名前を付けることにしたからね。」

えっと。つまり、魔物とかにとつて大事な名付けはクソどうでもよく……

「どうでも良いことか言ったら。どうなるか分かっているわよね。」

いえ！なんでもございませぬ！とつても大事なことですよね!!分かります。あく、名付け楽しみだなあ。どんな名前つくのかな。あく！楽しみ！楽しみ！どんな名前つくのかな!!

「お、そんな楽しみにしてくれたんだ。なら張り切らないとね。」

「そうね。じゃあ、どんな名前にするか教えて頂戴。」

「分かっている。分かっている。んじゃあ、こんな名前なだけどお?」

「良いんじゃないかしら。では、つけるわよ。」

名付けかあ。そう言えば、名付けで進化することも出来るんだっけ。ん？進化あれ?

ドライアド
樹妖精が進化形だったよね。……あれ。息子さんは戻らない。……

《確認しました。個体名^ト：マイル^レ・バイ^ン||イーザ^トンの魔素量^{エネルギ}が増大しました。樹妖精^{ドレイアド}への進化を開始します……成功しました。個体名：マイル・バイ||イーザ^トンは樹妖精^{ドレイアド}へと進化完了しました。》

何かを得たら何かを失うのは当然だよなあ？あ、チート系主人公？（知ら）ないです。

なんか森にいる生活33日目（久々の賢者タイム）

諸君、人は飲み食いせずに何日生きられるか知っているか？

答えは3日、たぶん3日……たぶん……た……た……ぶん。

うん。知らん！

そこら辺はネットに巣食う博識ニキ共に聞いとけ。

まあ、そんなこんなで……

ワイ、大ピンチです。

何故かって、もう分からん。

今まで食った気のしないデンプンが主食だったけど日が照ってる筈だから。腹なんて減らない筈なんだよね。

おつかしいなあ。おつかしいなあ。

どおしてなんでしょうねえ！こつちが聞きたいわ!!

いっつも食べた気がしない、食べた気がしないって文句言ってたから見捨てられ

絶対にこの借りだけは支払わせてやる。

なんか森にいる生活34日目

人と言う生き物は日々成長していくものである。

え?お前人じゃないだろ。

何処ぞの借金の女神も(多分)成長したから大丈夫だ。だから私にも適用される。何故かつて?そう!遂に、遂に遂に遂に遂に遂に遂に遂に遂に遂に遂に。

遂に、私はスキルを使用する事が出来たのだ!

これは私にとって小さなきっかけかも知れないが。人類にとっては大きな一歩となる。

そう!とても大きく偉大な一歩なの

『いや、違うからね。正しくは馬鹿の一覚えって言うからね。』

う

わあああ
あ!!!

114 遠坂系ヒロイン爆誕! いや、しねえよ。しないからね。絶対にしないからな! おい、あからさまにガツカリするんじゃねえよ。そんなになりたいんだったらテメエがなれよてみろよこんの! クソ野郎がア!!

遠坂系ヒロイン爆誕! いや、しねえよ。しないからね。絶対にしないからな! おい、そこ。あからさまにガツカリするんじゃねえよ。そんなになりたいんだったらテメエがなれよ。なってみろよこんの! クソ野郎がア!!

なんか森にいる生活35日目

．．．．．う、うう．．．．．夕、タスケ．．．．．し、死ぬ、シヌウ．．．．．ウウ．．．．．

「死にそうだねえ。はい、フルポーション完全回復薬。」

つあぁ．．．．．

有難うね。糞皇子ルドラあと、フルポーション毎度の如く完全回復薬を投げつけてくるぬじゃねえ!!

なんなん? なんか恨みでもあんのねえ! ねえ!! ねえ!!!

あるんだつたら言えよ! 復讐とかは受け付けないけどさあ! 別に痛みはないけど見ただけで痛くなつてくるから辞めろよなあ!

「いやwwだつてwwwwwwその反応がwおもしろいんだもんwwwwwwwwww」
 テメエ。さてはドSだな。

「いや、違うからね。君の反応が面白いだけだからね。」

畜生がああ!!

なんでこんな奴に目を付けられちまつたんだよ!

特に思い当たる節……が……

……あり過ぎて分んねえ。

やばいやばいやばいやばいやばいやばいやばい。

スキルで記録^{ログ}見たけど心当たりがあり過ぎんだけどお!何?これつて予定調和だつ

たの?え。普通に嫌なだけで。

撤回を!この忌々しいフラグに撤回を求める!

なんでこんなを目に遭わないといけねえんだ!んなフラグなんぞ即刻廃品回収に押

し付けよう!

返品を!このクソつたれな世界に返品を所望する!

「んじゃあ。人化?実体化だつたけかなあ?んまあ、その練習を始めようか。」

無視すんなし!つうか。記録^{ログ}漁つてたら。《赤の因子^{遠坂の因子}》つてのがあったんですがそこ

んところ詳しく。

「うん。いや。まあ。うん。アレだよアレ、アレアレ。えくと、そうそう。転移者の一人が面白そうな萬画絵を持っている人が居たからね。ソイツから強だ・・・ゲフンゲフンちよつと借りて鑑賞してみたんだよね。」

毎度思うが辞めて差し上げろお!! 絶対泣いてるからソイツウ!

「いや、大丈夫。泣いてはいなかったよ。そう、泣いてはね。」

辞めろおお!! その意味深な発言はあ! 毎度毎度反応にこまんだよお!!

「うん、まあ。話を戻すよ。んで、その中に君に付けたら面しろ・・・いいかん・・・うん。なんか良く? なりそうな属性を持ったキャラが居たもんだからその”名煎”を文字って付けてみたんだゆねえ。」

え、サイですか? サイなんですか?! えっ? ちよつ、え!? まっ・・・

「そしたらこんな事になるとは思ってたなくてびっくりした。」

・・・

「ん? どうしたの、急に黙り込んで。」

・・・けんな

「なになに? ちよつと拾い難いからもつとはつきり念じて。」

うつせえ! ふぎけんじゃ・・・

『あら。それ以上は言わない方が身の為よ。』

ひぎ!? つす、すみませんっしたあ!!!
 ごほん、ごほん。ゲフン、ゲフン。

「ずてん、ずてん。」

じたん、じたん。

で・・・なんの名前をもじったのですか? お教えてください。
 ルドラ王子殿下。死因がウツカリになるじゃねえか糞野郎。

「え? 遠坂だけどなにか。」

うわあ・・・

ところでルドラ様御鬼畜様この件について何か御申し開きはございますか?

「特に無いから。んじゃ! 俺帰るわ。」

てんめ! このつ。待ちやがれ!! テメエの所為でやばいもんついてつかもしれねえ
 じゃねえか! 責任とりやがれええええええええええ!!!

なんか森にいる生活36日目

にしてもスキルって便利ですわはい。いやあ、まさか使える様になるなんてほんつと。嬉しい限りだなあと思ってるんですが。

・・・・・"遠坂"うっかり家系図ってまじくないか？

いや不味いよね。まじで不味いよね。だってあの"遠坂"だよ。うっかりの代名詞こと"遠坂"赤い悪魔だよ。不味くね。いや、普通に不味いよね。んでもってスキルの一覧を見て見ろよ。

ユニークスキル

喪失者ナクスマモノ↑不確定うっか確率かりを使用

120 遠坂系ヒロイン爆誕! いや、しねえよ。しないからね。絶対にしないからな! おい、あからさまにガツカリするんじゃないやねえよ。そんなになりたいんだったらテメエがなれよ。てみろよこんの! クソ野郎がア!!

シルスモノ
書記者↑ 不確定確率^リ 自体^リを使用
アユムモノ
修行者↑ 不確定確率^リの残滓を使用

エクストラスキル

樹霊結界↑ 不確定確率^リを使用

魔力感知↑ 問題なし

耐性

状態異常耐性↑ 仕事してねえだろ絶対

わあ。スキルの大半が真つ赤つかだあ。

こんなスキルで戦闘? 無理です。御引き取りください。だよねえ。

いや、ふつつーに無理だよ。困難に命を預けるんだったら私は花京院の魂を賭ける

ね。(迫真)

うん。まあそんなもん。人生なんてそんなもん。

うん。諦めて寝よう♪

122 遠坂系ヒロイン爆誕!いや、しねえよ。しないからね。絶対にしないからな!おい、あからさまにガツカリするんじゃないやねえよ。そんなになりたいんだったらテメエがなれよてみろよこんの!クソ野郎がア!!

.
. . .
. . .
. . .
そ
う
い
や
あ。
寝
れ
ね
え
じ
ゃ
ん
俺
え。

正月が11日までならクリスマスだって許されるはず……だよなあ。……え、そうだよなあ。てか正月っていつまでだっけ？

なんか森にいる生活37日目

いつの間にか目の前が真っ白でした。

うん。きつとスキルの不具合かな。

きつとうつかり赤い悪魔が発動したんだろう。

うん。きつとそうだ。そうじゃないとおかしい。

だからな

目の前で――

――
ヴ空飛ぶ天災エルドラとヴ赤の相棒(多分子定)エルザードが怪獣決戦が行われてるなんて気のせいに違いな

いんだ。

うん。気のせいなんだよ。気のせい、キノセイ。

128 正月が11日までならクリスマスだって許されるはず・・・・・・・・だよなあ。・・
そうだよなあ。てか正月っていつまでだっけ?

・
・
お。
湖出来た。

なんか森にいる生活38日目

あ：ありのまま　今　起こった事を話すぜ！

・・・今メリクリされてる。

うん。分からん。いつの間にこうなったか分からん。これは元凶ルドラに聞く必要があるな。うん。

スウ・・・ルドラクウーン。なあにしてるのかなあ？なんで飾り付けられなきやいけないのかなあ??

「Merry Xmas。どうだい。飾りつけに結構気合いを入れてみたんだ。」

うん。陸でなしルドラ覚えてろよ。絶対に八つ裂きにしと

『ん？何かしら。』

嘘です。冗談です。ごめんなさい、もう致しません。

「で、どうだい。出来栄は。」

・・・うん。良いわけあるか、糞野郎良いんじゃない。

てか日付どころか季節も違うよね。クリスマスって12月25日なんだけど。そこから辺の説明は受けたの？

「いやあ。まあ。そうなんだけどさ。コレ雪見てたら。異世界から来た奴らが話してるの思い出しちゃって。楽しそうだし。やってみた。」

・・・で、なんで今なの？

もう一度言うけど日付どころか季節もちがうよね? てか性なる夜でも無いし。今真
昼間だし。

……で、なんで今なの? 大切だからもう一回聞く。
……で、なんで今なの?

「ここに雪があつたからに決まつてるじゃないか。」
死んどけ
おう。ところでルドラゲス野郎

「うん。言葉の端々に棘があるように聞こえるけど、なんだい。」

——アレ怪獣決戦どうすんの。

見たたびに地形が変わって迷惑なんですけど。

ねえ! あんな所に山脈なんて無かったんですけど。

これ、どうすんの。ぶっちゃけ迷惑なんですけど。

おい。聞いてんの? てか、なんで飛び立つ体制になつてんだよ。おい。待てよ、待て
よ。なんとかしろよ! 迷惑なんだよこっちはあ!!

「あゝ。公務が残つてたの忘れてた。んじゃ。」

おい! 待ちやがれ!!

テンメ絶対覚えてろよ! 倍返しにしてやがるからな!!!

やられたらやり返す。倍返しだ!!

《へえ。私にもよく聴かせて欲しいわ。》

第18話

なんか森にいる生活39日目（ヤケクソ）

2日ぐらい前から魔力探知で客観的な視点を出来る様になつたぜ！Y a y!!
何故かってえ。知りたいだろお？なんてつたつて——

アレのせいに決まつてるだろ。
怪獣決戦

何?!アレ!いつになつたら止めんの!?

てか地形変えすぎなんだよ!!

ちよつと目を離すすぎになんで山が湖になつてんの?!

なんで渓谷が山脈になつてんだよ?!

もう意味わからんわ!!!

てか積雪量30mつてふざけんのも大概にしろ!

こちらら視界が一瞬で真つ白になつたこつちの気持ちも考えろや、ボゲエ!!

だいたいさあ!

こんなところでおつ始めんなよ!!

もつと北の方でやれよ!てか海上でおつ始めろよ!

迷惑なんだよ！こっちわあ！！

ただでさえ地形は変わるわ、暴風で更地になるわ、冷気で森が消滅するわ。

もう何？世紀末なのここ。アレ？真つ赤な空が広がって十六種族がドンぱちやつ

てつとこななの？ここ。

うん、そうなんだな！ここ！！作品が違ってたただけなんだな！そうか！そうなんだ！うん。絶対そうだ——

あつぶねえ。あと1km違ってたら人生＼（o^o^）／オワタしてたぞ！

『1kmぐらい余裕でしょ。なに慌ててんの？』

つくりしたあ。

はあ???^{チーター}そんなん言えんのお前らみたいな奴らしか居ないわ!!!
 衝撃波^{物理}とか衝撃波^{魔素}とかで吹っ飛ばされんだよ！フ・ツ・ウ！！

つうかなあ。大抵の生物この地点に立って居るだけでも死ぞ。

死だからなあ。詩でも師でも☒でもないからな？死だぞ。死！

ホント今だけはこの体に感謝してもいいからな。

ありがとよ！この体にした奴！！今^{会っ}だけ感謝^たしてやつ^対からよ^殺す^す！！！！

つて！衝撃波がこっち来りゆううう！！！！

!!!!!!↓

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

工

ヤ

メ

地形100%

丸ごとシャーベットはいかがですか？

なんか森にいる生活40日目

祝！積雪量50m突破！！

いやあ。まさかたつたの四日で突破するとは思わなかつたよお。

いやあ。おめでと、おめでと・・・って、なあるかあああああ

ふざけんふざけんふざけんふざけんふざけんふざけんふざけんああ
!!!!!!!

何？ここで死ぬの??体感時間40日で終わんの!?

はあ？ふざけんなし。

ほんつとにいつ終わんですかあ？アレエ!!

近所迷惑どころの話じゃ済まないんですけどお・・・

もう止めてくれませんかねえ。

こちとら死んじまうわあ！

ん？あ。なんか綺麗なお姉さん来たあ。(脳死)

綺麗だなー。てかあんなトコ飛べんなら相当な実力なんだろうーなー。(思考の放棄)

お。なんか言ってる。

あ。でも、揉めてんなあ。

もう、ほんとにさいつこう!!だよ!

『良かったね。公務もそろそろ片付いて来たことだし。明後日辺りにでもそつちに行くから。』

最悪だあああああ!!!

『うわー。傷付くわー。酷いわー。(棒)』

『あら?死にたいのかしら貴女。』

すみませんでしたあ!!ってあれ?今ニュアンスが違ったような

『ん?』

何でもありませんっ S i r !!

お。何か祈り始めてるぞあの人。人?人かなあ?ん?ひ・・・と・・・つて羽が生えてっから違うかあ。

お。何か暖かくなってきたような。

っ!雪が溶けたあ!全部の雪が溶けたぞお!

バンザーイ。バンザーイ。バンザーイ。

ん?全部?はあ?!全部うううう

!!???

つてこおとおはあ。

あ
？

あ
??

あ
???

は？ 木々が水を吸ってる・・・の
ん？まつて。いやおかしいでしょ。
?????????

なんで水中から立派な木が出てくんの？
いや。おかしいだろ普通。

待つてよ、待つて。待つて待つて。

え???? は?
え????? え? ここマ○クラだっけ? アレ? 木ってスポンジするんだっけ? え? は? え??
ええ????? 何で? ええ
????????

うん。 気のせいだ。 忘れよう。
うん。 絶対夢を見てんだな。

そうだそうだ。 そうじゃなきゃおかしい。
だいたい。 水が木になれるわけないし。 いきなり水が消えるなんてある筈がない。
夢だ忘れよう。 うん。
精神衛生上、さっさと忘れるのが得策だな。 うん。

よし！気のせい気のせい。

てかあのお姉さん誰だろ。

→みたいにお堅くしてみたけどやっぱ駄目だわ。え？ま
ずば自分をなんとかしろって。んなもん無理だからこん
なんしてるに決まってるんだろおがあああああ!!!

なんか森にいる生活41日目

皆さんはマインク○フトをご存知だろうかMojang Studiosが開発し
2011年に正式リリースされ2019年5月にはテ○リス世界で最も売れている
ゲームである。

そのゲームにおいて水源を地上から離して設置した際、水が壁のようになるのを皆さんは見た事があるし実際にやった事があるだろう。

はい！では長い前置きはここまでにして今置かれている状況を説明しよう！！
周りのまったく水が引きません。

洪水が起きたから当然だろうって思ってるだろうけどそうじゃない。
自らを中心として半径30mの水だけなんだぜ。つつい魔力感知がガバうっかり起こしたの

を………

て、あれ？　そういうやあ、聖書の神ってその辺どうでも良かったよね。たしか神を冒瀆しなければ何をしても基本OKって感じの何処かの邪教より酷かった気が………え、これまじでどうすんの？　これ、ガチ目にピンチなやつだよ。マジでおやばいやつだよ。

あ、これ真面目に死ぬヤツかも知れんわ。

マイル・バイイーザン　享年1万9000歳（体感時間40日程度）

みたいな感じで。

………ああ。最後の最後まで誰かに振り回されっぱなしの人生だったなあ。

自力で動くことが出来なかったから、そこをどうにか出来たらよかったんだけど………。

もし次生まれ変わるとしたら、魔導王朝サンサリオン辺りでエルフとしてのんびり魔法の研究でもして、自由でのんびりとしたスローライフを送ってたいな。

もしくはもうちよつとましなチートと種族が欲しい。

流石にトレントスタートは厳しい。もうちよつとテコ入れが欲しかった。

あとはルドラ辺りにでも連絡してゆつくりと床に着きます………

こんな勝つたも同然の状態で死ぬようなことがあつたら完全に来世のネタにして
『大きめの溪谷が一つ・二つぐらいそこに出来る事になるけど、それでも良いな
ら……』

すみません！自力でなんとかします！！

うああああああああああああああああああああああああああああああああ
あ
!!!!

◆
◇
◆
◇
あれ?これ完全に死にますよね。死んじやいますよねえ!マジマジのマジで死ん

{
n
a
w

l
o
a
d
i
n
g
}

じやうやつですよねえ!!

まさかのここで人生終了!?

え。やだ。普通にやだ。今まで冗談半分くらいで言つてたけど、ネタにもなんねえしフツにオモロくないすけど。

いや、ネタにはなるかな。うん。ネタにだけはなるな。

．．．．．悲しいなあ。

前世が植物スタートで一生の九割九部九里寝てたとかフツツにネタだよなあ。

そこに、ほら。あれだあ．．．．ナニコレうっかリとか死因が溺死とか、交友関係があまりにもアレな所とか他にも色々．．．．ヤベエ。自分で言つて悲しくなつてきた。

何が悲しくてこんなネタキャラにならなきやいけねえんだよ。

なに? もう。絶対にアレだな。アレだよなあ。うちの家訓に『明神たる者常にネタであれ』とかつて言う、どつかで聞いたことのあるセリフを文字つた様な家訓がある所だ。だ。

うん。絶対にそうだ。そうじやなきやおかしい。

うん、まあでも、なあ。この話をした主人公君? ちゃん? さん? 様先生辺りが多分、いや確実に同情してくれそ．．．．．

156 ↑みたいにお堅くしてみたけどやっぱ駄目だわ。え?まずば自分をなんとかしろっ
なもん無理だからこんなんしてるに決まってるだろおがあああああ!!

ん?!何かキレイなネーちゃんが目の前にいるぞ
??????